

令和4年度第2回表面物性研究会

ードライコーティング技術の新たな展開ー

日 時 : 令和4年10月28日(金) 13:30~16:50

開催方法 : (地独)大阪産業技術研究所森之宮センター 3F 大講堂
ならびに、ZOOMによるオンライン配信

*新型コロナウイルスの感染状況によっては全面オンラインとなる場合があります。

主 催 : (一社)表面技術協会関西支部

協 賛 : (一社)エレクトロニクス実装学会関西支部, 近畿アルミニウム表面処理研究会,
(公社)電気化学会関西支部, 電気鍍金研究会, ドライコーティング研究会(AMPI),
(公社)日本材料学会関西支部, (公社)日本表面真空学会関西支部
(一社)表面技術協会 高機能トライボ表面プロセス部会

プログラム :

開会の挨拶 中村 知彦 (表面技術協会 関西支部 支部長)

(1) プラズマ CVD 法による高品位 cBN 膜の成膜技術と応用展開 13:35~15:05

九州大学大学院 総合理工学研究院 エネルギー科学部門 准教授 堤井 君元 氏

立方晶窒化ホウ素 (cBN) は、大きなエネルギーバンドギャップや、ダイヤモンドに次ぐ硬さなど、ダイヤモンドに類似する優れた諸性質を有する。また cBN は、高温耐酸化性が高く、鉄に対する反応性が低い点でダイヤモンドよりも優れており、高温動作可能な半導体デバイスや、広用途な切削工具への利用が強く望まれている。本講演では、プラズマ CVD 法を用いた高品位 cBN 膜の成膜技術とその応用展開について紹介する。

(2) 切削工具用ドライコーティング膜 15:20~16:50

住友電気工業株式会社 アドバンストマテリアル研究所 福井 治世 氏

切削工具の寿命向上にとって、ドライコーティング技術は欠くことのできないものとなっている。近年では数多くのセラミックコーティング材料が研究開発・実用化され、生産現場での加工コスト低減に加え、加工部品の精度や品位向上にも大きく貢献している。本講演では、セラミックコーティング材料開発の足跡をたどるとともに、その特徴と使い分け、最新の技術革新と新材料、今後の展開について工具メーカーの視点から解説する。

◎参加費 : 会員・協賛団体会員 : 3,000 円, 一般 : 5,000 円, 学生 : 1,000 円 (消費税含む)

◎定 員 : 会場 40 名, オンライン 100 名

◎申込締切 : 10月24日(月)

◎申込方法 : 1) 参加ご希望の方は、支部ホームページよりお申込み下さい(推奨)。

<http://kansai.sfj.or.jp/gyoji/busei/index.html>

2) 参加申込書を FAX にて関西支部事務局宛に送付下さい。

※参加申し込み受付後、振込先をお知らせします。

現地参加の方も事前のお振込をお願いいたします。

◎申込・問合せ先 : (一社)表面技術協会関西支部 事務局 (担当 : 石川, 森)

〒606-0805 京都市左京区下鴨森本町 15 番地 (一財)生産開発科学研究所内

TEL : 075-781-1107/FAX : 075-791-7659/Email : kansai-office@sfj.or.jp

FAX 送信票

年 月 日

(一社)表面技術協会関西支部 事務局 あて

FAX : 075-791-7659

(一社)表面技術協会関西支部「令和4年度 第2回表面物性研究会」への参加を申込みます

フリガナ

氏名 :

勤務先(学校名) :

住所 : 〒

電話 :

FAX :

Ema i l :

会員資格 : 表面技術協会 エレクトロニクス実装学会 電気化学会

近畿アルミニウム表面処理研究会 電気鍍金研究会 日本材料学会

日本表面真空学会 ドライコーティング研究会 (AMPI)

(一社)表面技術協会 高機能トライボ表面プロセス部会

一般 学生 ※会員資格は属するものをすべてチェック下さい

請求書 : 要 不要

※請求書送付先(上記参加者と異なる場合はご記入ください)

住所 : 〒

担当者 :

参加方法 : 対面(会場) オンライン

禁止事項 : 禁止事項に同意を頂ける場合はチェックを入れて下さい →

・発表の録音、録画、撮影は厳禁とさせていただきます。

・参加者限定の情報を第三者に伝えないでください。

※禁止事項に同意いただけない方は参加をお断りさせていただく場合がございます。

※ネットワークの切断などの不測の事態が発生する場合があります。また講演者への質問が出来ない場合もございますので、予めご了承願います。